

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

うみ

つばめ

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町 23 番地 5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

提言

石心会グループでも診療看護師(NP)の採用を開始しました。

診療看護師は米国のナース・プラクティショナーをモデルにして誕生したものです。

米国のNPは1960年代に養成が始まっており、現在ではすでに全米50州でNPの医療行為は認められ、上級看護職として、臨床医と看護師の中間職とポジショニングされ、一定レベルの診断や治療などを行います。

欧州諸国でも同様にNPは幅広く活躍していますが日本では、2014年に社会保障審議会医療部会の審議

で「特定行為に係る看護師の研修制度」として保健師助産

師看護

師法の改正という形で法制化され、看護職の役割が拡大し

診療看護師への期待

石井暎禧

石心会グループ代表



ました。その背景には超高齢社会にありますが、日本では国家資格とすることは見送られ、現在では一般社団法人日本NP教育大学院協議会が「診療看護師」(NP)として認定することで一定の診療補助行為と看護を行います。

NPが医師の業務を軽減することによって、医師はさらに専門性の高い治療に専念できます。またNPは一般の看護師以上に患者さんの状況に合わせた介入ができるので、業務効率も向上し、医療の質を上げることが期待されています。

NPが医師の業務を軽減することによって、医師はさらに専門性の高い治療に専念できます。またNPは一般の看護師以上に患者さんの状況に合わせた介入ができるので、業務効率も向上し、医療の質を上げることが期待されています。

そのためにはNPを見守り、チームの一員として養成することが大切です。石心会では、将来の日本の医療を見つめ、新しい時代の医療を切り開く担い手としてNPに期待し、臨床現場での育成をしたいと考えています。

海燕 80号 目次

診療看護師(NP:ナース・プラクティショナー)

への期待..... 1

埼玉石心会病院への看護師派遣

5月までに35名が決定..... 2

かわさき健康塾参加者10万人を突破..... 2

2病院ともにDPC特定病院群に認定..... 3

新卒者188人が入職..... 3

心停止後症候群のケア・セミナーに参加して..... 4

学会発表一覧..... 5

人事ニュース..... 9

埼玉石心会病院への看護師派遣 5月までに35名が決定

埼玉石心会病院への看護師派遣プロジェクトは順調に推移し、すでに就業している者を含め5月1日までに35名の看護師が、神奈川県（主として川崎市）から派遣されることが決定しました。

当初計画は、平成30年度内に50名を派遣する計画ですが、目標の達成は確実と言えそうです。

すでにお知らせしているとおり、個々人の派遣期間は2年間としていますので、来年度も同じペースで派遣をすれば来年度末には派遣職員だけで100名になる計算です。

埼玉県の下位に次いで、人口当たりの看護師数

が下から2番目の神奈川県から、なぜこれほどの派遣が可能かという点、2012年の川崎幸病院の移転以降5年間で新病院が看護師をはじめ職員を引き付ける病院になったことが挙げられます。

埼玉石心会病院でも、そうした事態は想定されるので、埼玉での採用の状況を見ながら派遣数を調整して行く予定ですが、数は質を決定する重要な要素ですので、今後とも看護師数が十分に行きわたるよう派遣PJ一同努力して行きたいと考えています。

PJ代表・辻田征男

かわさき健康塾参加者10万人を突破

3月7日に開催されたかわさき健康塾で、参加者の累積が10万人を突破しました。2012年10月1日に講演が始まった同塾の講演数は2,000を越えました。開塾後、約5年半での達成です。

一般講演では50～60人、大型イベントの特別講演では100人以上の方々が毎回参加しています。

最近では、地域の団体や企業での口コミによって同塾の知名度が上がり、出張講演依頼の連絡が毎日のように寄せられている状態です。

また同塾の対象者として、子育て世代や、高校生にも広げ、高校では授業の一環として取り入れられたいしています。

同塾の開催は、地域住民の皆さん、川崎で勤務されている方の来院促進にもなっており、受診・健診を希望される方が多くおられ、塾の会場で参加者が外来予約の電話をされることもしばしばあります。

運営面では、ボランティアの方々が会場設営や写真撮影などのお手伝いをいただいています。

ちなみに埼玉県石心会グループが主催する石心会健康塾では、2月末に参加者の累積が9万人を超えました。



石心会健康塾は 「一般社団法人 みんなの健康」に移管

これまで、石心会健康塾は埼玉石心会病院を中心に運営されてきましたが、2018年度4月から「一般社団法人 みんなの健康」に移管されます。それによって石心会健康塾は「みんなの健康塾」と名を改め、埼玉石心会病院が協賛することになりました。

2病院ともにDPC特定病院群に認定

2018年度改定による見直し

診断群別日額定額払い方式・DPC/PDPS (Diagnosis Procedure Combination / Per-Diem Payment System) は日本の病院の入院医療の中心的な支払制度です。DPCは日本で開発された患者分類手法で、米国で開発されたDRG (Diagnosis Related Groups) と同様に診断群分類の一種です。

2014年に川崎幸病院が、大学病院本院に準じた一定以上の「診療密度」、「医師研修の実施」、「高度な医療技術の実施」、「重症患者に対する診療の実施」などの診療機能を有するとしてDPC病院Ⅱ群に入りました。

しかし、2016年度の改訂では、医師研修数が十分ではないとされ、その他の急性期病院群としてのDPC病院Ⅲ群になりました。

埼玉石心会病院は、手術件数の不足を指摘され、その他の急性期病院群としてのDPC病院Ⅲ群の認定でした。

両病院がDPC特定病院群に認定

2018年度のDPC病院は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ群という名称

を、病院の序列を表しかねないとして、Ⅰ群を大学病院本院群 (82施設)、Ⅱ群をDPC特定病院群 (155施設)、Ⅲ群をDPC標準病院群 (1,493施設) として改称して認定を行いました。

2018年度では石心会グループの2病院は、これまでのⅡ群に当る「DPC特定病院群」として認定されました。川崎幸病院は指定される研修医数が8人に枠が拡大されて、医師研修が十分ではないという指摘をクリアしての再認定でした。埼玉石心会病院は手術件数の不足との指摘はそのまま持ち越したままでしたが、DPC標準病院群からDPC特定病院群に移動しました。

DPC病院群の名称変更と認定病院数の変化

2016年度	2018年度	増加数
Ⅰ群 (81施設)	⇒ 大学病院本院群 (82施設)	1施設
Ⅱ群 (140施設)	⇒ DPC 特定病院群 (155施設)	15施設
Ⅲ群 (1,446施設)	⇒ DPC 標準病院群 (1,493施設)	47施設
合計 1,667施設	1,730施設	63施設

2018年度 新卒入職者 新卒者188人が入職

石心会グループの新卒入職者は188人です。4月2日に、川崎市で入社式の後、2日にわたるオリエンテーションを受けます。

神奈川地区は91人が採用されました。その内訳は、川崎幸病院 75人 (初期研修医 8、看護師 38、薬剤師 2、診療放射線技師 3、臨床検査技師 2、臨床工学技師 4、救急救命士 1、理学療法士 6、言語聴覚士 1、社会福祉士 2、事務 6、看護補助 2)、川崎幸クリニック 9人 (事務)、第二川崎幸クリニック4人 (事務)、川崎クリニック2人 (臨床工学士 1、事務 1)、さいわい鹿島田クリニック 1人 (事務)。

埼玉地区では96人です。その内訳は、埼玉地区事



昨年度の入社式

業所全体で初期研修医7人、看護師38人、薬剤師7人、診療放射線技師6人、臨床検査技師9人、臨床工学士5人、救急救命士2人、作業療法士2人、言語聴覚士3人、管理栄養士2人、栄養士1人、事務14人です。立川介護老人保健施設わかばは介護職員1人となっています。

心停止後症候群 (Post cardiac arrest syndrome: PCAS) の ケア・セミナーに参加して

入野 虎義

川崎幸病院 診療部 診療看護師 (NP)

2018年1月28日、日本循環器学会・日本蘇生協議会が定期的に開催する第8回PCASセミナーに参加しました。

PCAS セミナーは、Evidence-based Medicine (最新最良の医学知見を用いた医療) を検証し、5年毎に改訂する国際蘇生・救急心血管治療ガイドラインの蘇生・心拍再開後ケアの実践訓練を中心としたセミナーです。

受講者は、医師、研修医、看護師、臨床工学士、救急隊員など50名。8班に分かれ、教員30名によって、器具を用いた気道確保手技、モニタリングを駆使した最適なCPR手技、機械的循環補助を用いたCPR手技、心拍再開後の体温管理手技など最新の国際標準基準の蘇生法が指導されました。

川崎幸病院では、ERの新しい取り組みとして院外心停止患者、特に

無脈性心室頻拍 (pulselessVT) / 心室細動 (VF) 例に対し、経皮的人工心肺装置 (PCPS) を迅速に導入し、低体温療法と緊急冠動脈造影を行う最先端の蘇生医療の展開を開始しました。同時に院内急変・心停止例に対し院内急変対応 (Rapid Response System) チームを組織しその対応を展開しています。

これまで、私は救急領域や周術期領域で働くことが多く、アメリカ心臓協会 (AHA) の蘇生トレーニングコース (BLS「器具を用いない蘇生手技」とACLS「器具を用いた高度な蘇生法」) や重症集中患者管理のFundamental Critical Care Support (FCCS) コースを受講し、急変時や集中治療の患者管理に対応する能力を身につけました。

今回、院外心停止患者の社会復帰

① 自己心拍再開を一刻も早く達成させる戦術

② 心拍再開前から脳指向型集中治療を展開させる戦術

③ 心拍再開前からの再灌流障害対策 (心停止中から導入する低体温療法)

などを実践訓練で習得しました。

川崎幸病院では、心停止症例が救急外来へ搬送され、医師、

看護師、救急救命士などによって救急蘇生治療が展開されています。この救急蘇生体制をさらに高めるためには、蘇生に関する知識とその戦略・技術をスタッフ一同で共有することであると再学習しました。

看護師は患者さんの最も身近にいる存在で、情報の共有やコミュニケーション技術に長けています。診療看護師 (Nurse Practitioner) とは、看護師の特定行為研修を全て修了し、医師の指示下に特定の医行為ができる看護師を指し、わが国では2015年に発足し、その活躍が期待されています。

診療看護師の強みは、患者を総合的に考えて身体診察を行い、臨床推論ができ、医師の指示下で特定の医行為ができることです。救急外来の現場においてチーム医療の一員として活躍できると考えます。

川崎幸病院では、年間1万台を超える救急患者の救急搬送を受け入れています。私は診療看護師であり、チーム医療の新しい担い手として、いかなる救急患者においても迅速で的確に対応し、最善・最良の医療をタイムリーに提供できるように心がけたいと思います。



石心会グループ学会発表一覧

2018.1～2018.2

◆川崎幸病院

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
尾崎健介	大動脈センター	2018.1.20	The Society of Thoracic Surgeons of Thailand	Management of type A Aortic Dissection. Routine hemiarth repair in transapical cannulation and adventitial inversion technique	Bangkok	シンポジウム
広上智宏	大動脈センター	2018.1.25～26	第32回心臓血管外科ウィンターセミナー学術集会	非典型的な臨床経過を呈した炎症性腹部大動脈瘤破裂の手術例	岩手	一般口演
中川達生	大動脈センター	2018.2.19	第48回日本心臓血管外科学会	臓器虚血を伴う急性 A 型大動脈解離に対する血管内治療	三重	一般口演
大島 晋	大動脈センター	2018.2.21	第48回日本心臓血管外科学会	下行大動脈人工血管置換術後の胸腹部大動脈人工血管置換術	三重	一般口演
尾崎健介	大動脈センター	2018.2.20	第48回日本心臓血管外科学会	EVAR 後 endoleak に対する開腹瘤内止血術	三重	一般口演
櫻井 茂	大動脈センター	2018.2.19	第48回日本心臓血管外科学会	Coronary malperfusion を伴う Stanford A 型急性大動脈解離に対する治療法の検討	三重	一般口演
平井雄喜	大動脈センター	2018.2.19	第48回日本心臓血管外科学会	当センターにおける Uncomplicated type B dissection 治療の検討	三重	ポスター
沖山 信	大動脈センター	2018.2.20	第48回日本心臓血管外科学会	SMA 虚血を合併した A 型急性大動脈解離に対する治療戦略	三重	一般口演
山崎元成	大動脈センター	2018.2.20	第48回日本心臓血管外科学会	急性大動脈解離に対する胸部大動脈ステントグラフトの33例の経験	三重	ポスター
広上智宏	大動脈センター	2018.2.19	第48回日本心臓血管外科学会	当センターにおける Marfan 症候群に対する手術例の検討	三重	ポスター
太田 竜	外科	2018.1.26	第88回大腸癌研究会	原発巣の側性から検討した当科における大腸癌治療成績の差異	東京	ポスター
伊藤慎吾	外科	2018.1.26	第88回大腸癌研究会	Stage IV 大腸癌原発巣の占拠部位における左右差についての検討	東京	ポスター
伊藤慎吾	外科	2018.2.10	第14回日本消化管学会総会学術集会	腹膜播種を有する Stage IV 大腸癌の切除後の治療成績	東京	要望演題
太田 竜	外科	2018.2.24	第35回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	治療に難渋した胆癌患者におけるストーマ合併症の治療経験	北海道	ポスター
飯田 玲	婦人科	2018.1.28	第一回稲門医学会学術集会	美術と医療	東京	口頭発表

【地方学会】

柏葉 裕	腎臓内科	2018.2.17	第69回神奈川腎炎研究会	Tubulointerstitial nephritis with IgM-Positive plasma cells と思われる慢性間質性腎炎の一例	横浜	口演
------	------	-----------	--------------	---	----	----

【講演会】

日月裕司	がん治療センター	2018.2.9	かわさき幸がんウィーク 2018	がんにならない、なっても死なない～がん予防とがん検診～	川崎	口演
日月裕司	がん治療センター	2018.2.10	The Yonsei Workshop on Esophageal Cancer 2018	Current Practice and Clinical Trials for Esophageal Cancer in Japan	ソウル	口演
日月裕司	がん治療センター	2018.2.10	The Yonsei Workshop on Esophageal Cancer 2018	Salvage Esophagectomy after Definitive Chemoradiotherapy for Esophageal Cancer	ソウル	口演
長山剛太	脳神経外科	2018.2.19	横浜北部脳神経外科セミナー	一般脳神経外科医による最近のてんかん診療 - ベランパネルの使用経験 -	新横浜	講演

看護部

上地めぐみ	8 北病棟	2018.2.23～24	第35回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	独居高齢者のストーマ造設後の手技習得に向けた働きかけ	北海道	一般口演
横山絵美	ACU	2018.1.24	心臓血管外科ウィンターセミナー	急性 B 型大動脈解離における当院リハビリテーションプログラムの進行状況と急性期予後の検討	岩手	一般口演

コメディカル部

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
清 優ノ介	リハビリテーション科	2018.2.21 ~ 23	第 45 回日本集中治療学会学術集会	大動脈解離術における歩行障害因子の検討	幕張	口述

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
太田 竜	外科	International Journal of Surgery Case Reports	Combined laparoscopic abdomino-endoscopic perineal total mesorectal excision for anorectal malignant melanoma:A case report	雑誌
寺戸雄一	病理科	Case Rep Oncol	Vesicoenteric Fistula Arising from an Adenocarcinoma of Ectopic Pancreatic Tissue in a Meckel Diverticulum.	
宇田 晋	腎臓内科	腎不全を生きる VOL.57, 2018	透析患者さんの糖尿病を改めて考える 日常の注意とセルフケア～食事, 水をはじめカリウム, リンかで	雑誌

看護部

宮口貴子	CCU	メディカ出版 ナーシングビジネス 2018年 2月号	看護管理者が最低限知っておくべき経営数値	書籍
伊藤牧子	HCU	日総研 消化器看護 がん・化学療法・内視鏡 2018年2月号	学び方・教育 特集 「消化器領域のリーダーや部署内での勉強会」	
竹内由紀	看護部	メディカ出版 糖尿病ケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ペリネイタルケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ブレインナーシング 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ネオネイタルケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 オペナーシング 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ハートナーシング 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 エマージェンシー・ケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 透析ケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 消化器外科ナーシング 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 整形外科看護 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 眼科ケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 呼吸器ケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ナーシングビジネス 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ニュートリションケア 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 リハビリナース 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 産業保健と看護 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍
竹内由紀	看護部	メディカ出版 がんナーシング 2018年 2・3月号	カンパニオ「速習! 誤嚥&誤嚥性肺炎」第4回 誤嚥性肺炎への予防と対応	書籍

◆第二川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【地方学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
安江正治	脳神経外科	2018.2.24	第 35 回川崎市医師会医学会	第二川崎幸クリニックにおける頭痛外来について	川崎	口演

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山田宗明	心臓血管外科	2018.2.19～20	第48回日本心臓血管外科学会学術総会	急性A型大動脈解離におけるfrozen elephant trunkを用いた上行弓部大動脈置換術の成績	三重	ポスター
長谷川真作	脳神経センター	2018.2.25	第19回日本正常圧水頭症学会	特発性正常圧水頭症 (iNPH): 当科の取り組みと治療成績	京都	口演
山崎美保子	放射線科	2018.2.23	第337回 BODY-CT 研究会	偶然発見された腹部腫瘍の1例	東京	口演
本田憲業	放射線科	2018.2.2	第10回呼吸機能イメージング研究会学術集会	コアセッション1「胸部画像の定量化における現状と問題点」	大阪	座長

【地方学会】

山田宗明	心臓血管外科	2018.2.10	第247回日本循環器学会関東甲信越地方会	冠動脈瘻に併発した冠動脈瘤破裂の1手術例	東京	口演
熊谷奈美	研修医	2018.2.10	第639回日本内科学会関東地方会	糖尿病のフォロー中に発見された原発性ヘモクロマトーシスの1例	東京	口演

【講演】

石原正一郎	脳神経センター	2018.1.15	秩父外科医会	脳卒中最新医療について	秩父	講演
石原正一郎	脳神経センター	2018.1.19	西武てんかん療法 Up to Date	一般講演II	所沢	座長
石原正一郎	脳神経センター	2018.2.2	明生リハビリテーション病院講演会	脳血管内治療について	所沢	講演
石原正一郎	脳神経センター	2018.2.16	西埼玉 NPH フォーラム 2018	髄液循環の理解と誤解	当院	座長
石原正一郎	脳神経センター	2018.2.16	西埼玉 NPH フォーラム 2018	特発性正常圧水頭症タックテストの方法と結果	当院	口演
石原正一郎	脳神経センター	2018.2.23	脳領域における低侵襲治療最新の知見研修会	脳領域における低侵襲治療最新の知見	川越	講演
長谷川真作	脳神経センター	2018.1.19	西武てんかん療法 Up to Date	コントロールに苦慮したくも膜下出血後はいれんの症例呈示	所沢	口演

看護部

井上明紀代	4A 病棟	2018.2.23～24	第35回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	適切なオムツの使用に対する取り組み～オムツの勉強会を通して～	札幌	示説
-------	-------	--------------	----------------------------	--------------------------------	----	----

診療支援部

秋山好美	栄養室	2018.1.12～14	第21回 日本病態栄養学会 年次学術集会	褥瘡患者の体格と褥瘡発生部位の関連についての検討	京都	ポスター
邨井優大	放射線室	2018.2.20	埼玉CTテクノロジーセミナー	新CT 装置導入における撮影方法の検討	大宮	口演

事務部

平沼昌弘	防災センター	2018.2.21～23	ファシリティマネジメントフォーラム 2018	新病院移転とヘルスケアFM -理念の実践に向けて-	東京	口演
須田江津子	感染管理室	2018.2.23～24	第33回 日本環境感染学会総会・学術集会	病院内におけるインフルエンザアウトブレイクの背景・要因の検討とチームSTEPPS手法を用いた対策実施後の評価	東京	口演

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
小柳俊哉	心臓血管外科	栄養経営エキスパート 2018年3・4月号 No.11	The 症例 ～病態を読み解くエッセンス～ 「巨大胸部大動脈瘤」	書籍
本田憲業	放射線科	臨床放射線 63 75-80,2018	非放射性キセノン吸入と静注ヨード造影剤によるdual energy CT撮影を用いた換気血流比画像の作成	書籍

看護部

六反勝美	看護部	看護技術 2018 2月号 vol.64 No.2	認定看護分野Q&A 緩和ケア編	雑誌
------	-----	---------------------------	-----------------	----

◆さやま総合クリニック

論文・教科書執筆等

大塚博紀	健診センター	埼玉県医学会雑誌, 第52巻第1号 (2017年12月), p123-128	「50歳以上のBMIか腹囲かのどちらかが大きな体格者間における人間ドック結果の違い」	論文
------	--------	--	--	----

◆さやま腎クリニック

学会発表

【講演】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
座長： 池田直史	人工透析内科	2018.2.8	埼玉西部地区 腎症を 考える会	講演Ⅱ「腎症合併糖尿病におけるSGLT阻害薬の最新治療について」	埼玉	講演
池田直史	人工透析内科	2018.2.9	CKD-MBD研究会	「CKD-MBDの新しい治療戦略 当院におけるエテルカルセチドの使用経験」	埼玉	講演

◆昭島腎クリニック

学会発表

【講演】

栗本義直	診療部	2018.1.25	CKD-MBD Seminar 2018		東京	座長
栗本義直	診療部	2018.2.23	第1回立川透析勉強会		東京	座長